

平成30年度 事業報告

1. 概要

我が国の経済は、企業収益や雇用環境の改善が続く中、個人消費の持ち直しの動きも見られ、景気は緩やかながらも回復基調で推移しました。戦後最長に並んだとみられる緩やかな景気回復の状況の下、少子高齢化による労働力不足という課題に対し、国も働き方改革や女性、高齢者の労働参加促進など本腰を入れて対策を行ってきました。地域企業の人手不足や市民生活の下支えなどに貢献しているシルバー人材センターに対する期待は一層大きくなっています。

こうした声に応えるためには、会員数拡大が最重要課題ですが、定年年齢と年金支給年齢の引上げや再雇用の拡大などにより、厳しい状況が続いています。

当センターの現状は、対前年比で派遣契約・賃金額は、ともに40パーセントを超える増となりましたが、会員数は11人減、事業実績では受注件数が7.4パーセントの減、契約・配分金額がともに8.6パーセント減など、いずれも4か年続けての減となっております。

安定したセンター運営のため、新規会員の確保、会員と役職員の一層の連携強化による活動が求められています。

高齢者が元気で地域社会における役割を担い続けていくため、関係機関の変わらぬご支援とご協力をお願いするとともに、今以上に、会員一人ひとりが積極的に活動するシルバー人材センターの実現に努めて参りたいと考えています。

事業概況

項目	件数・人数・金額・率		比較増減	
	30年度	29年度		
受注件数	2,771件	2,994件	△223件	△7.4%
就業実人員	405人	437人	△32人	△7.3%
就業延人員	31,989人	34,137人	△2,148人	△6.3%
契約金額	152,396千円	166,806千円	△14,410千円	△8.6%
派遣契約額	13,593千円	9,594千円	3,999千円	41.7%
配分金額	133,118千円	145,715千円	△12,597千円	△8.6%
派遣賃金額	10,685千円	7,452千円	3,233千円	43.4%
就業率	82.8%	87.4%	△4.6ポイント	—
会員数	489人	500人	△11人	△2.2%